

令和6年12月24日開催
調査

議会改革調査特別委員会資料

○調査事件 議会体制の在り方・議員のなり手確保対策等議会改革について

福島町議会事務局

1. 次期改選期に向けた議会体制の見直し等について

(1) 議会の現状

令和5年度の改選において、議員定数10人に対し立候補者が9人となり、町の議会議員選挙としては初めて無投票選挙となりました。

全国的に議員のなり手不足等が言われていることは議会としても認識しておりましたが、今回の結果を受け認識が甘かったと言わざるを得ず、早期に次期改選期に向けて議会体制を見直す必要があります。

(2) 見直し等の項目について

特別委員会の設置に先立って議会運営委員会委員から出された次期改選期に向けた議会体制の見直し等に係る項目は以下のとおりです。

①議員定数

②議員歳費

③議員のなり手対策

ア. 研修塾の開催を検討

イ. 住民と議会の距離を縮める方策を検討

ウ. ハラスメント条例の制定を検討

④議会改革の見直し

ア. 常任委員会の在り方について検討

イ. 議会倫理条例の改正を検討

(3) 見直しのスケジュール

見直しに係るスケジュールについては、以下のとおりです。

年月日	内 容
R6. 1	議運委員へのアンケート
R6中	特別委員会で見直しの内容を検討
R7. 2. 3～10	町民と議員との懇談会で検討状況を報告
R7. 2. 18	四町議会議員協議会研修会（議員のなり手不足対策：栗山町）
R7. 5～6	先進地視察を実施
R7中	特別委員会で見直しの内容を検討・確定
R8, 2	町民と議員との懇談会で見直し内容を報告、意見を聴取
R8. 6	6月定例会で関係条例等の改正を上程

2. 福島町の議員定数等の変遷

年度	人口	世帯数	有権者数	投票者数	投票率	議員定数	立候補者数	議員1人当たりの町民数
S38	12,629	2,272	6,678	5,482	82.09	26	37	486
S42	11,900	2,465	6,587	5,602	85.05	26	—	458
S46	11,622	2,764	7,143	6,183	86.56	26	34	447
S50	12,188	3,121	7,741	6,904	89.19	26	35	469
S54	11,564	3,081	7,613	6,772	88.95	26	30	445
S58	10,601	3,011	7,154	6,316	88.29	22	26	482
S62	9,314	2,830	6,641	6,014	90.56	18	26	517
H3	8,376	2,748	6,220	5,593	89.92	18	20	465
H7	7,620	2,693	5,906	5,182	87.74	16	17	476
H11	6,997	2,615	5,653	4,812	85.12	16	18	437
H15	6,462	2,598	5,404	4,573	84.62	14	16	462
H19	5,644	2,437	4,858	3,790	78.02	12	13	470
H23	5,052	2,340	4,464	3,717	83.27	11	13	459
H27	4,561	2,252	4,042	2,899	71.72	10	11	456
R1	3,997	2,093	3,651	2,628	71.98	10	11	400
R5	3,485	1,916	—	—	—	10	9	349
R9	2,945	1,748						

(注) 人口は10月1日時点

3. 渡島管内の議員定数等の状況（令和6年10月31日時点）

町名	国勢調査人口	住基人口	面積(km ²)	議員定数	議員1人当たりの町民	常任委員会の設置状況
福島町	3,794	3,397	187.23	10	340	総務教育 経済福祉 広報広聴
松前町	6,260	5,850	293.12	11	532	総務経済 厚生文教
知内町	4,167	3,817	196.75	10	382	総務文教 経済民生
木古内町	3,836	3,557	221.87	10	356	総務経済
七飯町	27,707	27,222	216.75	14	1,944	総務財政 民生文教 経済産業
鹿部町	3,762	3,537	110.63	10	354	総務経済 民生文教
森町	14,343	13,678	368.27	14	977	総務経済 民生文教 広報広聴
八雲町	15,844	14,618	956.08	14	1,044	総務経済 文教厚生 広報広聴
長万部町	5,113	4,748	310.76	10	475	総務 産業建設

※1 国勢調査人口は令和2年度国勢調査の速報値

※2 住基人口は各町のHP等から今年10月末の値

4. 人口規模が類似する自治体の現状（R5. 7. 1時点）

（１）Ａ区分（人口5,000人未満） 全道147団体中 88団体

	自治体名	人口	議員定数	団体数	備考
最大	今金町	4,687人	12名		
最小	音威子府村	654人	6名		
			12名	1団体	
			11名	6団体	
			10名	26団体	
			9名	25団体	
			8名	28団体	
			7名	1団体	
			6名	1団体	

（２）Ａ区分のうち人口3,000人以上4,000人以下 全道88団体中 19団体

	自治体名	人口	議員定数	団体数	備考
最大	上川町	3,167人	11名		
	美深町	3,845人	11名		
最小	豊浦町	3,591人	8名		
	中札内村	3,877人	8名		
	更別村	3,133人	8名		
			11名	2団体	
			10名	9団体	
			9名	5団体	
			8名	3団体	

5. 福島町の議員歳費の変遷等

年月日	歳費月額（円）				議員歳費 改定額と率 （円、％）	期末手当 （支給額）	町長の 給 料	摘 要
	議 長	副議長	委員長	議 員				
H2. 4. 1	230,000	175,000	160,000	150,000	10,000 (7.1)		700,000	
H3. 12. 1						425/100		期末手当に15/100加算
H5. 4. 1	255,000	200,000	180,000	170,000	20,000 (13.3)		800,000	
H17. 4. 1	245,000	195,000	175,000	165,000	▲ 5,000 (▲2.9)	(355/100)	650,000	期末手当を75/100減額 支給
H18. 4. 1	234,000	184,000	165,000	157,000	▲ 8,000 (▲4.8)		650,000	
H19. 9. 1	198,000	155,000	141,000	131,000	▲ 26,000 (▲16.6)		650,000	
H22. 4. 1						390/100		期末手当35/100引き上 げ
H23. 4. 1						370/100		期末手当20/100引き下 げ
H23. 9. 1	232,000	185,000	168,000	156,000	25,000 (19.1)		650,000	●福島町方式採用 算出額の10%を削減す る特例措置
H27. 9. 1	259,000	207,000	187,000	174,000	18,000 (11.5)		650,000	算出額の10%を削減す る特例措置を廃止
H28. 6. 1						420/100		期末手当を「0.5月」 引き上げ
H29. 4. 1	278,000	222,000	201,000	187,000	13,000 (7.5)	430/100	720,000	期末手当を「0.1月」 引き上げ
H29. 12. 1						440/100		期末手当を「0.1月」 引き上げ
H30. 12. 1						445/100		期末手当を「0.05月」 引き上げ
R1. 12. 1						450/100		期末手当を「0.05月」 引き上げ
R2. 12. 1						445/100		期末手当を「0.05月」 引き下げ
R3. 12. 1						430/100		期末手当を「0.15月」 引き下げ(R4,6月で)
R4. 12. 1						440/100		期末手当を「0.10月」 引き上げ
R5. 9. 1	321,000	257,000	233,000	216,000	29,000 (15.6)		720,000	対象とする給与を「町 長、副町長、教育長の 平均」から「町長」に 見直し
R5. 12. 1						450/100		期末手当を「0.10月」 引き上げ
R6. 12. 17						460/100		期末手当を「0.10月」 引き上げ

6. 町民と議員との懇談会で出された意見等（報告書から抜粋）

○議員歳費・定数関係 8会場（20件）

8会場から、議員定数・議員歳費の在り方について、20件の意見が出されました。

議員定数・歳費について議会では今後どのように対応していくのかという質問がありました。

定数については人口減少に伴い減らしていく方向になるのではないかという意見がある一方、減らしすぎると偏った意見しか反映されなくなるのではないかという意見がありました。

歳費については歳費を上げても新たな立候補者がいなかったことに対し、歳費を上げても立候補にはつながらないのではないかという意見がある一方、議員を職業として考え、議員歳費だけで生活できる水準まで歳費を上げなければ立候補できないのではないかという意見がありました。

なり手不足については、新たな議員を育てるため学生や若者に興味を持ってもらうことが必要という意見や、現職の議員自らが後継者を探したほうがいいのではないかという意見、人口比率的に女性議員を選出してほしいが、普段の生活を見ていると女性は家庭などの犠牲を伴わなければ議員活動はできないなどの意見がありました。

・地区別懇談会の開催状況

凡例：○議会对応、◎町行政対応、☆説明済み]

月 日	意見等
2/2 (金)	■松浦・吉野（松浦・吉野町内会館）18:00～18:52 参加者：5人（男5人、女0人） 【議会関係】 ○若い人が立候補していかなければ先行きがない。若い人の声を聴くのは大事なことだ。 ☆各種団体の青年部との懇談を行い声掛けしたが、立候補には至っていない。 【議員定数・歳費】 ○今回議会選挙で無投票になり議員が1人少なくなったが、議会として特に何も差し支えないのでしょうか？ ☆委員会運営に支障がある。現在の体制と、次期改選期に向けた課題の検討状況を説明。
2/2 (金)	■館崎1・2・3（吉岡総合センター）18:00～18:47 参加者：5人（男5人、女0人） 【議員定数・歳費関係】 ○議員定数等について、これから議会全体で検討していくのか？今回の選挙結果で報酬を上げれば良いということではないことが分かったと思うが？ ☆そうです。現在、議運委員の意見を集約しているが、議運以外の議員とも情報を共有して検討していく。
2/5 (月)	■吉岡1・2・3（吉岡総合センター）18:00～19:25 参加者：11人（男8人、女3人） 【議会関係】 ○長年議長や副議長を務めている人がいると、若い人がやりたいといってもできない状況もあるのではないか 【議員定数・歳費関係】 ○町民が少なくなってきたから、議員定数も今の人数（9人）でいいのでは。 ○議員が定数割れし、4年後も増えることは難しいと思う。今期限りで辞めるという議員もいるようだし、次期は8名になるのではないか。今後の議会について議会側ではどう考えているのか。 ☆議会体制について検討している状況を説明。 ○議員歳費だけでは生活できないだろう。人数は減っていくので、その分生活が保障できるくらい歳費を上げてはどうか。また、女性や若い人が必要だというのであれば、議員自らが育てていくことが必要だと思う。 ○今回歳費を上げたが立候補する人がいなかった。それはやる気のある人がいなかったということではないか。

2/5 (月)	■上町・本町・川原町（役場機能回復室）18:00～19:37 参加者：5人（男4人、女0人、新聞社1人） 【議員定数・歳費関係】 ○議会だよりの雑感のようなことがかかれていると、議員としての魅力がはなれていってしまう。 ○人口を見ると女性のほうが多いから、女性議員を選出してほしいが、誰でもなれる訳でなく、普段の生活を見ると議員活動する余裕はないと思う。 ○女性は家庭などの犠牲が伴わないと議員はできないと思う。 ○自営業で街に貢献しているが、そこから町のために頑張ろうという使命感までなかなか行かない。 ○議員が定数下回るのは、民意を反映させるのに偏った意見しか反映されなくなるので反対。
2/6 (火)	■日向1・2・3（日向町内会館）18:00～19:30 参加者：7人（男5人、女2人） 【議会関係】 ○今回定数割れとなったが、次期の立候補者育成について何か予定はあるのか ☆現在、次期改選に向けて定数や歳費を含めた議会の在り方について検討を始めていることを説明。 ○去年の選挙時期に「選挙にならないなら立候補する」と言った人が複数いたと聞いた。そういった発言をする時点でやる気がないのではと思うが、選挙がなければやる気のない人でも議員になれてしまう。4年という任期の中で町のため町民のために真摯に取り組むやる気のある人が議員になってほしい。 ☆そういった話は耳にしている。議会でも青年部や女性部との懇談会を実施するなどして立候補者の掘り起こしを行ったが残念ながら今回は新たな立候補者が出なかった。次期改選に向けて引き続き若手や女性議員の掘り起こしを行っていく。 【定数・歳費関係】 ○定数、歳費について昨年の懇談会でも話をしたが、議員も一つの職業として捉え、兼業ではなく議員の歳費だけで生活できる位の水準まで歳費を引き上げるべきではないか。若い人が立候補できる環境を作っていくためには安定して暮らせるだけの金額が必要だと思う。ただし、急激に上げようとすると町民の理解を得られないので、年数をかけて町民と話し合いを重ね、段階的に上げていくなど丁寧な取り組みが必要。 ☆時期改選に向け、定数、歳費、議会体制の検討を行っていること、ある程度議会としての案がまとまった段階で町民に対して説明する予定であることを説明。
2/6 (火)	■吉田町・館古（役場機能回復室）18:05～19:20 参加者：3人（男3人、女0人） 【議員定数・歳費関係】 ○以前も言ったが、新たな議員を育てるのも議員の仕事ではないか。学生・若者に興味を持ってもらうことが必要。 ☆自分の経験では、30、40代で出てくるのは無理だと思っている。 ○議会はいらないという声がある。定員割れしたというのはそういうことではないか。
2/6 (火)	■月崎1（月崎1町内会館）18:00～19:26 参加者：7人（男5人、女2人） 【議会関係】 ○議運で次期改選期に向けて議論していくが、どういう方針でいくのか。 ☆議運での検討状況、考え方について説明。 ○女性議員が出てくようがんばってもらいたい。女性団体でリーダーシップ取っている人が適任だと思うが難しいところもある。
2/7 (水)	■月崎2（月崎2町内会館）18:00～19:06 参加者：9人（男4人、女4人、新聞社1人） 【議会関係】 ○議会の形として、町村会議というものがあると聞くと、福島町でも考えてみてはどうか。 ☆人口が減少しているといっても3,000人台の人口を有する現在の福島町で町村会議を実施することは難しい。 ○新聞で見たが、2050年には福島県の人口が1,000人台になると聞いた。このままの体制を維持できるのか。 ☆今後は広域事務組合による対応範囲を拡大することや、合併も選択肢の一つとして考えていかなくてはならないと思うが、今の段階では単独でできるところまで頑張っていきたいと考えている。定数については現在の検討状況を説明。 【議員定数・歳費関係】 ○（議員定数等について状況を説明した後、意見はないか問いかけた返事）何か言ってもその通りにやってくれるわけでもない。

2/9 (金)	■新栄町（新栄町集会所）18:00～19:35 参加者：12人（男6人、女6人） 【議員定数・歳費関係】 ☆本当は議員の歳費で独り立ちして子育てしていけるくらいにならないといけないと思っている。高いと言われるが、専任でやるのであればそれくらい議員の環境も考えていかなければならない。 ○4年後に失業するかもしれない。 ☆若い人に議員になってもらうにはそれくらい上げないといけないと個人的には思っている。議員も女性のなり手を探しているのでぜひ検討してもらいたい。 ○1人だと潰されてしまうかもしれないから、3人位はほしい。
2/13 (火)	■三岳1（三岳1町内会館）18:00～19:18 参加者：6人（男4人、女2人） 【議会関係】 ○自発的に立候補する人がおらず、人数が足りないのであれば仕方のないことだろう。 ○どうして長い間、若い人の育成をしてこなかったのか。育成という意味合いも込めて若い人を副議長にするという考え方もあったのではないか。どうしてそうしてこなかったのか。 ☆議長、副議長は議員間の選挙により決定することを説明。 【議員定数・歳費関係】 ○ある程度人数を減らして、その分をみんなで割り振りをしてもいいのではないかという声もある。 ○道新でこの先、人口が半分になると読んだ。現在いる議員の大半は後期高齢者となる。定数は2でも4でも減らせばいい。今でも足りていないのだから。
2/13 (火)	■千軒（千軒活性化センター）18:00～19:41 参加者：7人（男5人、女2人） 【議会関係】 ○議員の定数について、議員の担い手について適任でありそうな人への声掛け等活動しているか。一般の町民よりも現職の議員の目線で後継者探したほうがいいのではないか。 ☆現在の検討状況等説明。 ○過去に議員定数を減らしたほうがいいという運動をしたことがある。福島町の議員は兼業でやっている人が多い。給料体系を高くして生活できるレベルまで上げて、議員一本でやれるようにあげたらどうか。 ○すべての分野で担い手がない。議員の資質があると見極めるのは現職のほうが目が肥えていると思う。 ☆次期改選期に向けての議運での検討状況説明。 ☆副業で議員をやるとなると会社の理解が必要になってくる。それでも何回も休むわけにはいかないので、会議の開催時間なども考えなきゃいけない。そこまで意欲のある町民がいるのか。議会はただ出された案件をやみくもに賛成しているわけではなく議論ぶつけた結果で賛成している。なんとなく行政から出されたものに質問するのが悪いという風潮が町内にあるが、本来は議員が町民の代表である。いまは議員と町政について熱く語るような人がいなくなった。町民も意識レベルを上げていかないといけない。